

高知県農業振興部 I o T 推進プロジェクトチーム特別講演 & 第7回高知県 I o T 推進ラボ研究会セミナー

農業×IoT

県では昨年7月に企業や大学などで構成する「高知県IoT推進ラボ」を設立し、IoT技術による地域の課題解決や、各産業の生産性向上を目指した取り組みを進めています。

本県の施設園芸農業は環境制御技術の導入による生産性の向上を図っており、主要品目を生産するハウスの20%以上で導入され、収量アップにつながっています。その一方、生産現場では労働力不足や省力化が課題となり始めていることから、農業振興部では、本年5月に「I o T 推進プロジェクトチーム」を発足させ、I o T 技術を活用した次世代への技能伝承やさらなる所得アップ等を目指した取り組みをスタートさせました。このたび、農業分野におけるI o T 技術活用の可能性について、農家の皆様とI T 事業者が共に考える場として、セミナーを開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

特別講演

「I o T が拓く次世代農業 ～オープンイノベーションが牽引する地方創生～」

(株)日本総合研究所 創発戦略センター
シニアスペシャリスト、農業チームリーダー **三輪泰史 氏**

「日本農業が持続的に発展するためには儲かる農業への変革が欠かせない」との観点から、法人化や農業参入の促進、先端技術の導入、海外展開といった取り組みを続けている。近年は、「IoT等を駆使して農業従事者みなが儲かる農業モデル＝『アグリカルチャー4.0』」という独自の新たな概念を提唱し、政策提言や成功モデルの立ち上げに取り組んでいる。農林水産省「食料・農業・農村政策審議会」委員等を歴任。「クローズアップ現代」、「NHKスペシャル」など多くのTV番組にてゲストコメンテーターを歴任。「次世代農業ビジネス経営成功のための“付加価値戦略”」など著書多数。



事例発表

「カメラを活用したイチゴ生育の見える化への取り組み」

キャノンITソリューションズ(株) R&Dセンター 先進技術開発部 部長 **田中泰洋 氏**

圃場において刻々と変化する温度、CO2濃度などの環境因子を計測・蓄積し、分析するための仕組みは商品化されているが、今後、これらに加え、作物自体の生育状況を計測し数値化できれば、環境×栽培×生育の相互関係の分析が容易になり、より高度な栽培管理の実現が期待できる。イチゴ栽培を対象としたカメラ画像による生育状況計測技術、収量予測技術の実証活動を紹介する。

開催日時・場所 等

開催日時

平成29年9月20日(水)

○セミナー 第一部(特別講演) : 14時00分～15時40分

○セミナー 第二部(事例発表) : 15時50分～16時35分

開催場所

高知県農業技術センター 研修棟 (高知県南国市廿枝1100)

主催

高知県農業振興部 I o T 推進プロジェクトチーム

高知県 I o T 推進ラボ研究会 

セミナー定員

100名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込方法

参加申込書にご記入のうえ、FAXまたはE-MAILにてお申し込みください。

申込締切

平成29年9月14日(木)

入場無料
一般参加歓迎

参加申込書

企 業 ・ 団 体 名		
参 加 者 氏 名 (役 職 ・ 氏 名)		
電 話 番 号	()	—
電 子 メ ー ル		

《お問い合わせ・申込先》

高知県商工労働部産業創造課 I o T 推進室 利岡、奈良、揚田

TEL 088-823-9751 FAX 088-823-9261

E-mail kochi-iot@ken.pref.kochi.lg.jp